

# いまどきの歴史

一番新しい日本の一ページ

歪んだナショナリズム

ヨーロッパで極右政党支持者急増！  
日本も「ドサクサ右傾化」か？

ヨーロッパで極右政党が力を伸ばしつつある。フランス大統領総選挙でも極右候補が2番勢力となり、決選投票にもつれ込んだのは記憶に新しい。他にイギリス、オーストリア、ハンガリー、オランダでも極右政党支持者が増えている。過去にナチス・ドイツに合併された歴史があるオーストリアは、今なおその影響が水面下で残っているようだ。一方、イギリスやフランスの右傾化は移民が原因。イギリスは旧ソ連や中東からの移民、フランスはアフリカからの移民を多く受入れてきた。しかし、失業率が急上昇する今、移民を排斥してネイティブの生活を守ろうとする歪んだナショナリズムが芽生えたというわけだ。一方、日本とて他人事ではない。不審船が領海内で発見されたり、領事館の不可侵権が侵害されたりと、いつ有事に発展するかわからない事件が続く現在の日本。さらには議員疑惑をはじめとする国会混乱のどさくさにまぎれて、有事法案やメディア規制法案が審議されている。55年体制こそ終わったものの、自民党が先頭に立つ日本の政治は今、急速に右傾化しつつある。

サッカー放映権料高騰！

本当の強豪チームとはいったい何か？  
それは経済的にも自立したチームだ

フットボールは  
金でやるモンじゃないッ



サッカーの放映権料が高騰し、ドイツの大手メディア「キルヒ・メディア」と「ISL」、イングランドの「ITVデジタル」が相次いで経営破綻した。欧州のフットボールチームはスポンサー料だけでなく、放映権料の分配によって成り立っているところも多く、チーム経営にもメディア会社の経営破綻の影響が出そうだ。そんな中で黒字を出している逞しいチームもある。イングランドのマンチェスター・ユナイテッドは、みずから飲食チェーンを展開して資金を調達。チーム経営に莫大な予算が必要な今、スポンサー料や放映権料に依存する「スネかじり経営」よりも、マンUのようにみずからも資金を捻出する「半自立型経営」に転換すべきではないだろうか？ スポーツは試合での好成績とともに、経営の成功も不可欠。W杯後は移籍も活発に行われ、莫大な金も動く。これからは経営面でも強豪のチームだけが生き残ってゆく厳しい時代になるだろう。

実はこの人だッ

「一番右の方」にいる人なのだ。



棒立ち&傍観

亡命希望者を見捨てた日本は  
本当に国際社会に対応できぬのか？

在中日本総領事館へ亡命しようとした朝鮮民主主義人民共和国住民5人を連行するために、中国武装警察が敷地内に入るといふ事件が起きた。映像では日本の領域が中国の武装警察に足を踏み入れられた場面が映っているが、両国の主張が食い違い、問題はなかなか解決しそうもない。そして、何より恥ずかしいのは、領事館職員が亡命者を保護しようとしたことだ。

現在、朝鮮民主主義人民共和国から亡命希望者が相次ぎ、アメリカ大使館やカナダ大使館へ駆け込む人たちが増えており、それを支援する団体もある。ただ、今回日本総領事館に駆け込んだ人は、日本に亡命しようとしたわけではない。日本は亡命者から魅力的と思われていないし、実際に亡命者を受け入れるだけの土壌があるかという点、それも疑問。国際法違反云々を主張するのも当然のことだが、それよりもなぜ亡命者を必死で守ろうとしなかったのか？ 亡命者が希望どおり韓国に入国できたことだけが唯一の救いか。

何かのCMでも  
あったけど

日本に亡命  
してくるのは

愛煙家  
くらい？



文◎大塚 祐希

1968年大阪府八尾市生まれ。昔ながらの京都の民家を仕事場とするライター集団「大塚社事務所」の暫定CEO。「スポーツが好きだが自分ではやらない」「車が好きだが免許を持っていない」「酒が好きだが外で飲むと店で眠ってしまう」という数々のジレンマと戦いつつ、今日も愛機G4を駆る。



イラスト◎両口 和史

1967年京都市生まれ。京都精華大学美術学部卒業。北山のオフィスにて様々なキャラクターやイラスト制作をおこなうユニット「キャトル・イラストレーション」のチーフ。猫、フランス車、家具、雑貨、レコード、本、おもちゃ、平日の公園。それらがイラストを構成するエッセンスである。HP●<http://www.d1.dion.ne.jp/~ryoguchi>